

宮城県林業普及活動情報

2024. 11月号 No. 198

もくじ

各地の林業普及活動情報

P 2～11

- 仙南地域スマート林業研修会 (大河原地方振興事務所)
- まるもり子どもの森林植樹祭 (大河原地方振興事務所)
- せんなんマルシェ in 大河原合同庁舎の開催 (大河原地方振興事務所)
- 令和6年度仙南地域素材生産・流通連絡会議の先進地視察の開催 (大河原地方振興事務所)
- ヤナギ活用検討への支援 (北部地方振興事務所)
- 小学生を対象とした「おおさき山がっこ」を開催 (北部地方振興事務所)
- こけし材の調達に向けた現状と課題についての情報共有 (北部地方振興事務所)
- 所有森林の整備についての相談対応 (北部地方振興事務所)
- 「野生きのこの出荷管理等説明会」の開催 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- みやぎ生徒・児童「木工工作」コンクール出展者への参加賞配布 (東部地方振興事務所)
- 「加美町山の幸研究会」による原木しいたけ施設見学の対応 (東部地方振興事務所)
- 第48回全国育樹祭記念行事「市民参加の新たな森林づくり・秋」の開催 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- ICT技術交流会の開催 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 生物多様性に配慮した林業経営とニホンジカの管理に係る情報交換会開催支援 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 森林施業プランナー実践研修フォローアップ (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 森森フェスタ2024 in YASSE (秋Ver) で林業PRブース出展 (気仙沼地方振興事務所)
- 令和6年度宮城県林業普及活動・試験研究成果発表会を開催 (林業技術総合センター)
- 令和6年度伐木等の業務労働安全衛生特別教育 (第2日目／3日) を実施 (林業技術総合センター)
- 令和6年度森林・山村多面的機能発揮対策事業安全講習会の講師 (林業技術総合センター)

仙南地域スマート林業研修会

大河原地方振興事務所

【7日(木)】

仙南地域のスマート林業を推進する目的で、無人航空機を活用した現地測量及び森林整備補助事業の申請業務のやり方について、講師を招いて研修会を実施しました。研修では、講師からドローンを飛ばすための事前準備から実際飛ばすまでの流れや注意点について具体的な手順について教えていただきました。また、現地で実際にドローンの操作を見学し、操作時の注意点を確認することが出来ました。

当所からは、実際補助事業でオルソ画像データを用いて申請しても、現地調査省略が出来ない事例等について伝達しました。その結果、ドローンを用いた測量や実際の申請について理解を深めることが出来ました。



【研修の様子】

まるもり^{もり}子どもの森林植樹祭

大河原地方振興事務所

【12日(火)】

丸森町合併70周年記念として実施した植樹祭に参加し、「森林の持つ役割の学習」として、森林の公益的機能について、小学生ほか参加者に説明を行いました。

会場はH14山林火災やR元年台風被害地である羽出庭地区で、小学生は森林の働きや、地元の方からの被災の話を聞いた後、少花粉スギの苗木を植栽し、丸太切り体験を行いました。また、併せて全国育樹祭のPRを行いました。

子どもたちからは「初めて植林して楽しかった」「木が山を支えてくれることがわかった」等の感想がありました。

今後も森林教育を支援していきます。



【説明の様子】

せんなんマルシェ in大河原合同庁舎の開催

大河原地方振興事務所

【22日(金)】

当所の各部と連携し、仙南地区の農林産物や加工品等を広くPRする販売会を大河原合同庁舎で開催しました。

この販売会は、一昨年から開催しており、今年度は7月、9月に続いて3回目となります。仙南地域産の農林産物や加工品の販売ほか、地元飲食店等による特色あるメニューが提供され、消費者に向けて仙南地域の魅力を広くPRしました。

今回は山の幸シーズンであることから、林業関係のブースを増やし、原木しいたけ、まいたけ、ぎんなん、炭加工品のほか、きくらげ、丸森産たけのこを使用したピザのキッチンカー等多くの方に来店いただき、マルシェを盛り上げていただくとともに、山の幸の魅力を伝える良い機会となりました。また、前回に続き、全国育樹祭記念行事として、木製カプセルトイの抽選や育樹祭のPRも行いました。抽選プレゼントの当所オリジナルの木製バッチ(地元作製)は、大変ご好評いただき、育樹祭と木製品のPRに一役買いました。

今後も、仙南の山の幸の販路拡大に向け、関係機関と連携しながら、生産者支援と魅力発信を継続していききたいと思います。



【販売会の様子】

令和6年度仙南地域素材生産・流通連絡会議の先進地視察の開催

大河原地方振興事務所

【29日(金)】

仙南地域の素材供給者と需要者で構成される仙南地域素材生産・流通連絡会議の構成員を対象とし、先進地視察を実施しました。

視察先として中・大径材の製材ラインを整備した株式会社ヤマコ佐藤登米工場及びFSC認証材により木造の新しい社屋を建設したJAみやぎ登米本店・東部なかだ基幹支店に依頼し、それぞれ視察をおこないました。登米工場では素材の受け入れ態勢など工場の視察も併せて活発な意見交換がなされました。JAみやぎ登米本店・東部なかだ基幹支店では、木造での建築となった経緯や重ね柱・重ね肘木といったこの建物の特徴的な工法等について説明を受け、木材利用に関する新たな知見を得ることができました。



【株式会社ヤマコ佐藤登米工場視察の様子】



【JAみやぎ登米本店・東部なかだ基幹支店視察の様子】

ヤナギ活用検討への支援

北部地方振興事務所

【12日(水)】

一般社団法人が管内の事業体と協力し、ヤナギ挿し木による苗木の育成を行っており、バイオマス材として活用検討するにあたり今後の活動の打ち合わせを行いました。

ヤナギ挿し木は、春にプランターに直挿ししたもので、秋以降も生長することが確認できたため、今後は造林適否について関係者と検討していくこととしています。



【さし穂の生育状況確認】

小学生を対象とした「おおさき山がっこ」を開催

北部地方振興事務所

【14日(木)】

今年の6月に続き、「おおさき山がっこ」登録サポーター2名とともに、美里町立小牛田小学校1年生を対象に森林教室を実施しました。

はじめに「おおさき山がっこ」登録サポーターから、「①穴の開いた木の実（クリ，ドングリ，クルミ）はどの動物が中身を食



【説明の様子】

べたのか?」、「②鳥は何を使って巣を作っているのか?」、「③人は木を何に加工して利用しているのか?」などを実物に触れながら教えてもらい、その後、公園の中を散策しました。

秋空の下、子ども達にとって貴重な体験となるとともに、今後の森林等への関心が深まるきっかけとなることが期待されます。



【公園内の散策（イチョウの木の下で）】

こけし材の調達に向けた現状と課題についての情報共有

北部地方振興事務所

【27日(水)】

こけし制作に使用されるミズキ材確保に向けた情報収集を継続的に実施していますが、木地玩具協同組合と現状と課題について共有するため打合せを行いました。

組合側からは、令和5年度に立木売買契約に至った民有林のミズキについて、伐採し搬出完了したことと、新たに岩手県からの材の調達にも着手したとの話がありました。

事務所から、県有林内のミズキ資源把握や原木しいたけ生産者からの情報収集等を進めることについて、情報提供を行い、今後引き続き話し合いを行って意思疎通をはかることを確認しました。

なお、今回、ミズキの特徴である白い木肌や材の柔らかさなどについて、こけし制作の様子を見せていただくことで実感することができました。



【打合せの様子】



【こけし制作の様子】

所有森林の整備についての相談対応

北部地方振興事務所

【29日(金)】

相談に来られた森林所有者は、皆伐・再造林に意欲があるものの、法規制の強い地域を含んでおり、容易に全域での施業ができる状況にない事に困っていました。

そこで、役場担当課に法規制の内容や現地の状況を確認した上で、法規制のかかっていない区画で、かつ材の搬出がしやすい場所での施業を提案し、森林所有者に了解されました。



【打合せの様子】

「野生きのこの出荷管理等説明会」の開催

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【14日(木)】

栗原市においては、平成24年10月に野生きのこの出荷制限指示が出されていますが、令和5年3月に野生きのこの非破壊検査法による放射性セシウムスクリーニング法が改正され、野生きのこのうち「なめこ、ならたけ、むきたけ」が解除対象品目に追加されました。

このため、令和5年10月に「野生きのこの出荷管理等説明会」を開催したところですが、検査を実施する栗原市や、受託する（一社）はなやまネットワークにおいて、運用方法の変更があったため、あらためて説明会を開催しました。

昨年は1検体あたり100円を徴収しましたが、本年度は栗原市の予算化により無料としたことや検査実施日時の変更などを説明しました。また、出荷においては出荷者登録申請書を栗原市に提出すること、非破壊式放射能測定装置による結果が基準値以下でも県が実施する出荷前検査を実施しないと出荷できない旨等を説明し理解を得ました。

高齢化や、検査事務が複雑なため販売を控える出荷者も多い中、検査事務のスムーズ化を図り、震災前の販売量に回復することを期待し支援を続けていくこととしています。



【パワーポイントを使い説明】

みやぎ生徒・児童「木工工作」コンクール出展者への参加賞配布

東部地方振興事務所

【6日(水)】

第17回みやぎ児童・生徒「木工工作」コンクールに出展した管内小学生13名に対し、当事務所独自の参加賞を配布することとしました。管内木工業者と打合せを重ねながら、コンクール名の入った木製フォトフレームを考案・製作し、作品返却時に配布しました。

木工工作コンクールへの出展促進及び地元産材を使用した木製品の普及を目的とし、令和4年度から当事務所独自の参加賞配布をしています。今回は小学生が日常的に使用し、木のぬくもりに触れることができる製品を、管内木工業者と共に考案しました。

石巻産スギ材で製作したフォトフレームは、カツラの埋もれ木を補強材兼アクセントとして使用することで、インテリアとしても活用できるものに仕上がりました。引き続き幅広い年代に対して、木製品の普及を続けていきます。



【参加賞として配布したフォトフレーム】

「加美町山の幸研究会」による原木しいたけ施設見学の対応

東部地方振興事務所

【26日(火)】

加美町山の幸研究会より、原木しいたけ生産施設を見学したいとの要望を受け、管内の生産者を紹介するとともに、視察対応を行いました。

加美町山の幸研究会の参加者16名に対し、生産者より事業内容の説明を行った上で、ハウスや植菌機といった一連の栽培施設見学を行いました。また、生産者のご厚意で原木しいたけの収穫体験及び試食を準備いただき、参加者に原木ならではの風味や品種による差を体験してもらいました。

参加者からは、原木しいたけの施設栽培の視察は貴重な機会となったとの声や、ブランド化などの販売戦略が勉強になったとの声がありました。

今後も特産林産物の振興に向けて、普及啓発に取り組んでいきます。



【生産施設視察の様子】

第48回全国育樹祭記念行事「市民参加の新たな森林づくり・秋」の開催

東部地方振興事務所登米地域事務所

【7日(木)】

第48回全国育樹祭の記念行事となった、登米市および米川生産森林組合と当事務所で主催する植樹イベント「市民参加の新たな森林づくり・秋」を開催しました。155名の市民等が参加し、0.4haの米川生産森林組合所有林に、1,000本のスギを植栽しました。参加者は植栽指導を受けた後、1人約5本のスギを植栽しました。植林体験後、森林の機能に関する講話や、全国育樹祭のPRがあり、森林の育成について理解を深めることができました。当日は東和町内の小学生が多く参加したので、効果的に木育を実施し、全国育樹祭の開催気運を醸成することができました。



【記念撮影】



【木を植える参加者の様子】

ICT技術交流会の開催

東部地方振興事務所登米地域事務所

【12日(火)】

地域のICT技術推進を図るため、管内事業体に対し技術交流会を開催しました。GNSS測量機器やGPSアプリの説明を行い、地域のスマート林業実現に向けて意見交換を行いました。

実際にGNSSを活用している事業体による実演では、GNSS機器、測量結果集計ソフトの使用方法や使い勝手について情報交換がなされ、実務に生かすことで機器未導入である事業体のICT推進に貢献することが期待されます。

スマート林業推進における意見交換では、管内関係者で同機種のGNSS機器等をそろえ、技術交流を図ること、近年、夏の高温や蜂刺されで作業負荷が上がっている下刈りについて、ドローンを活用した方法の推進等が挙げられ、登米地域の林業振興に必要なICT技術を検討することができました。



【GNSS機器の説明】

生物多様性に配慮した林業経営とニホンジカの管理に係る情報交換会開催支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【26日(火)】

再造林を進めていく上でニホンジカによる食害が課題となっており、被害も年々増加傾向にあります。登米市森林管理協議会（事務局：登米市）は、自然保護課職員を講師に招いて生物多様性に配慮した林業経営とニホンジカの管理について情報交換会を開催し、林業経営における生物多様性について理解を深めることができました。



【情報交換会開催状況】

森林施業プランナー実践研修フォローアップ

東部地方振興事務所登米地域事務所

【26日(火)】

森林施業プランナー実践研修の研修生を対象としたフォローアップ個別面談が開催されました。面談では、組織体制の在り方やコスト感覚、マネジメント等の重要性について理解を深めることができ、今後の課題解決力の向上と業務改善につながるものと期待されます。



【フォローアップ面談状況】

森森フェスタ2024 in YASSE（秋Ver）で林業PRブース出展

気仙沼地方振興事務所

【3日(日)】

真夏の林業イベントとして山の日（8月11日）の開催が定着していた、NPO法人リアスの森応援隊が主催する森森フェスタですが、昨今の気温上昇にともない参加者の安全面を考慮し、今年度は真夏のイベントから秋のイベントとして11月3日（日）に開催されました。

当イベントでは親子木工教室やチェーンソー薪割り体験、林業機械への試乗体験などの体験型ブースの他に、旧月立小学校校舎で食べる八瀬学校そばなどイベントは大盛況でした。なお、当所でもブースを設け、ドローン操縦体験、気仙沼管内産きのこの試食コーナー（しいたけの唐揚げ）、なりきり林業キッズコーナー、モルック体験のほかに、気仙沼管内にゆかりのあるご当地キャラクターが勢揃いした顔はめパネルの設置も行い、沢山の



【顔ハメパネル】

参加者にはまっていただきました。現在、県合同庁舎内に常設中ですので見かけましたらぜひはまらいん！



【ドローン操縦体験】

令和6年度宮城県林業普及活動・試験研究成果発表会を開催

林業技術総合センター

【20日(水)】

大衡村平林会館3階ホールで73名の関係者に参集いただき標記発表会を開催しました。

林業普及指導員の技能向上を兼ねて、発表は、競技会形式で行い3名の入賞者を得ました。入賞者は、令和7年度林業普及指導員シンポジウム東北・北海道ブロック大会(青森)、令和6年度森林・林業技術交流発表会(秋田)、令和6年度第72回森林計画研究発表大会(東京)に参加する予定です。

入賞者に更なる飛躍を期待するとともに、これからも、林業普及指導員の技能向上に努めます。



【発表状況】

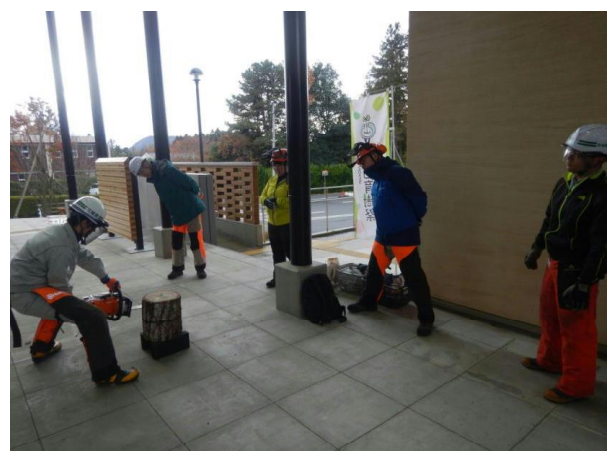
令和6年度伐木等の業務労働安全衛生特別教育（第2日目／3日）を実施

林業技術総合センター

【22日(金)】

県職員が、現場においてチェーンソー作業を実施する際に、労働基準法で事業者に求められる義務と同等の責務を確保するため、5名の受講生を得て、労働基準法に規定する標記特別教育の6時間分を実施しました。

カリキュラムは必要教程のうち、「伐木作業に関する知識」（3時間）の学科教育、「チェーンソーの操作」（2時間）及び「チェーンソーの点検及び整備」（1時間）の実技教



【水平・垂直スリットへのガイドバー出入れ】

育です。

講義内容として、テキスト「チェーンソー作業の安全ナビ」のカリキュラムに対応した章に沿い、説明した他、林業機械実習舎においてチェーンソーの操作・点検・整備実習を実施しました。

実技として具体的には、各種安全具の着用・エンジンを掛けずにチェンブレイキの掛け外し、水平・垂直スリットへのガイドバー出し入れで基本動作を学習し、丸太を用いて左右からの水平切り・合わせ切り及びソーチェーンの目立てを実施しました。

次回は、突っ込み切り・受け口・追い口の作成・立木の伐倒・集材・枝払いまでを学習する予定です。



【水平切りの実技・背中(黄)はソーチェーンの目立て作業中】

令和6年度森林・山村多面的機能発揮 対策事業安全講習会の講師

林業技術総合センター

【26日(火)】

宮城県森林・多面的機能発揮対策地域協議会が8名の研修生を得て開催した標記講習会の講師をしました。

協議会から、目立て講習の強い希望が寄せられたものの、当県は、死亡災害が相次いだことから、最低限必要なこととして、令和5年12月適用の「林業・木材製造業労働災害防止規程」の変更点を説明した後に、「チェーンソーを安全に使うためにソーチェーンの正しい目立て」(林業・木材製造業労働災害防止協会)に沿い、目立て方法を講義しました。

午後からは、林業機械実習舎前庭において、持ち寄ったチェーンソーを目立ていただき、目立て後に丸太を寸断し、切れ味の向上を体験いただくとともに、切れ味の確認後、再度目立ていただき、使用したチェーンソーをコンプレッサーで清掃いただきました。

これからも、チェーンソー関係者の技能向上と林業労働の安全確保に努めます。



【目立て(奥)と切れ味点検】